交野市文化財保存活用地域計画関連企画

市民文化財フォーラム

－自然と歴史を通じたまちの発見－

交野市倉治　仁平川の洗場

日時：令和３年３月２８日（日）１３時から

場所：交野市役所別館３階中会議室

主催　交野市教育委員会

協力　ＮＰＯ法人地域文化調査研究センター

交野市文化財保存活用地域計画関連企画

市民文化財フォーラム

－自然と歴史を通じたまちの発見－

日時：令和３年３月２８日（日）１３時から
場所：交野市役所別館３階中会議室

日　　程

13:00～13:05　開催あいさつ
　　交野市教育委員会教育長　北田 千秋

13:05～13:30　「今、なぜ交野市文化財保存活用地域計画が必要なのか」
　　交野市教育委員会社会教育課長（文化財）　真鍋 成史

13:30～14:10　第１部　令和２年度悉皆調査成果の報告
　　報告　「交野市の民家・土蔵、景観―地域文化財悉皆調査から―」
　　講師　元大阪市立大学客員教授　植松 清志 氏

14:10～14:20　休憩

14:20～15:00　第２部　文化財保存活用地域計画とは
　　講演　「河内長野市文化財保存活用地域計画策定について」
　　講師　NPO 法人文化遺産保存ネットワーク河内長野　尾谷 雅彦 氏

15:00～15:10　休憩

15:10～16:00　第３部　座談会―交野の文化財の将来を考える－

司　会	交野市文化財保存活用地域計画協議会会長	網 伸也 氏
パネラー	元大阪市立大学客員教授	植松 清志 氏
	NPO 法人文化遺産保存ネットワーク河内長野	尾谷 雅彦 氏
	元堺市博物館学芸課長	吉田 豊 氏
	交野市教育委員会教育次長	大湾 喜久男

16:00　　終了

交野市の民家・土蔵、景観

―地域文化財悉皆調査から―

元大阪市立大学客員教授　植 松 清 志

１．民家の形式

１）景観

建築年が古いと思われる民家は比較的残されているが、周辺に新興住宅群が建ち、伝統的な景観が損なわれている場合多い。

２）外観

２階建ての民家のほとんどが、階高の低いつし２階建て住宅、桟瓦葺きで、つし部に虫籠窓などが設けられている。虫籠窓の外枠は、長方形や木瓜形がある。

３）屋根の形式

切妻・入母屋・それらの併用。寄棟屋根は少ない。鉄板で覆った民家（図１）や大和棟（図２）も見られる。

図１元茅葺きの民家の例

図２大和棟の民家の例

図３洋風住宅（応接室）の例

階高が高い２階建てや洋風住宅（応接室）は、１軒（図３）を除いて見られないことから、明治時代以降、農村の景観が維持され、生活も伝統的な生活様式が維持されてきたと考えられる。

２．建築年代判定基準の民家

元茅葺き民家は、江戸時代末期頃の建築と推測されるが、明治以降に桟瓦葺きに変更（改装）の可能性もある。大和棟の民家は、明治以降に増加する。判定基準とした民家の例を以下に掲げる。

１）明治時代

150 年前の建築（聞き取り=明治初期）。屋根は入母屋形式、桟瓦葺き、つし２階建て、虫籠窓は長方形、軒裏は漆喰が垂木形に塗り籠め形式（図４）。

図４明治時代（推測）の民家の例

２）昭和初期

屋根は切妻形式、桟瓦葺き、つし２階建てあるが、虫籠窓ではなく、建具が入る。軒裏は漆喰が塗り籠められていない（図５）。江戸時代のつし２階は物置などに使用され、明治以降に居住空間になる。昭和初期に、現在と同様の階になる場合が多い。張出し玄関は、大正期の可能性もあるが、昭和初期頃に増えると推察される。

図５昭和時代初期（推測）の民家の例

３）大正時代

明治と昭和の中間の形態。軒裏は塗り籠めにしない。漆喰塗り籠めにする場合、垂木形ではなく、波形のものがある。虫籠窓は、明治時代より高さが高いものや（図６）、また木瓜形のものがある（図７）。

図６大正時代（推測）の民家の例

図７大正時代（推測）の民家の例

３．土蔵の形式

屋根は切妻、桟瓦葺き、置き屋根形式と軒裏を塗り籠めにする形式が多く、本瓦葺きは少ない。

壁面は、下部から、石積みの基礎、腰部分は板張り、壁面は漆喰塗りとする場合が多い。

１）Ａタイプ：石積みの基礎、腰部は板張り、壁面は漆喰塗り、軒裏は木部が露出する（図８）。

２）Ｂタイプ：石積みの基礎、腰部は板張り、壁面は漆喰塗り、軒裏は露出する木部を漆喰塗り仕上げ（図９）。

３）Ｃタイプ：石積みの基礎、腰部は板張り、壁面は漆喰塗り、軒裏は漆喰塗り籠めで木部が露出しない（図10）。

図８Ａタイプの例

図９Ｂタイプの例

図10Ｃタイプの例

４．各地区の景観

１）私部地区：A～E地区に分けて調査。

街道に面して古い集落が分散的に形成される。旧集落内は、道路幅が狭く、線的な景観がよく残さる。

図11 私部B６地点

図12C ２地点

２）倉治・神宮寺地区

（1）倉治地区：A～D地区に分けて調査。

旧集落が、集中的に形成されている。旧集落内は、道路幅が狭く、線的な景観が比較的よく残る。洗い場が残されており、水環境の豊かさが窺える。

（2）神宮寺地区：範囲が狭いため、地区に分けずに調査。

倉治地区から離れた集落で、古い集落が集中的に形成残る。古い家屋が点的に残さる。

図13 倉治A６地点

図14 神宮寺２地点

３）郡津地区：A～D地区に分けて調査。

街道に面して古い集落が分散的に形成されている。旧集落では、C地区に線的な景観がよく残る。

図15 郡津C ５地点

図16 郡津C23 地点

４）森地区：地区に分けずに調査を

街道に面して古い集落が分散的に形成されている。旧集落内は道路幅が狭く、景観が点的に残る。

図17 森５地点

図18 森12地点

５）私市地区：A～D地区に分けて調査。

街道に面して古い集落が分散的に形成されている。旧集落内は、道路幅が狭く、線的な景観が残る。煙出しを残す民家が多い。

図19 私市Ａ４地点　　図20 私市Ｄ５地点

６）寺地区：地区に分けずに調査。

街道に面して古い集落が集中的に形成されている。旧集落内は、道路幅が狭く、景観が点的に残る。

図21 寺２地点　　図22 寺 15 地点

７）傍示地区：地区に分けずに調査。

農村の景観がよく残る。

図23 傍示１地点　　図24 傍示２地点

８）星田地区：A～B地区に分けて調査。

街道に面して古い集落が分散的に形成されている。他地区に比して、石造仏・辻堂などが多く残る。

図25 星田A18 地点　　星田Ｂ４地点

５．今後の課題

各地区で、明治・大正・昭和初期と推測した住宅の中から数件ずつを抽出し、建築時期などの聞き取り、平面実測・改装時期の確認などを行い、外観などの形態から時代判定が行われる規準を作成する必要がある。

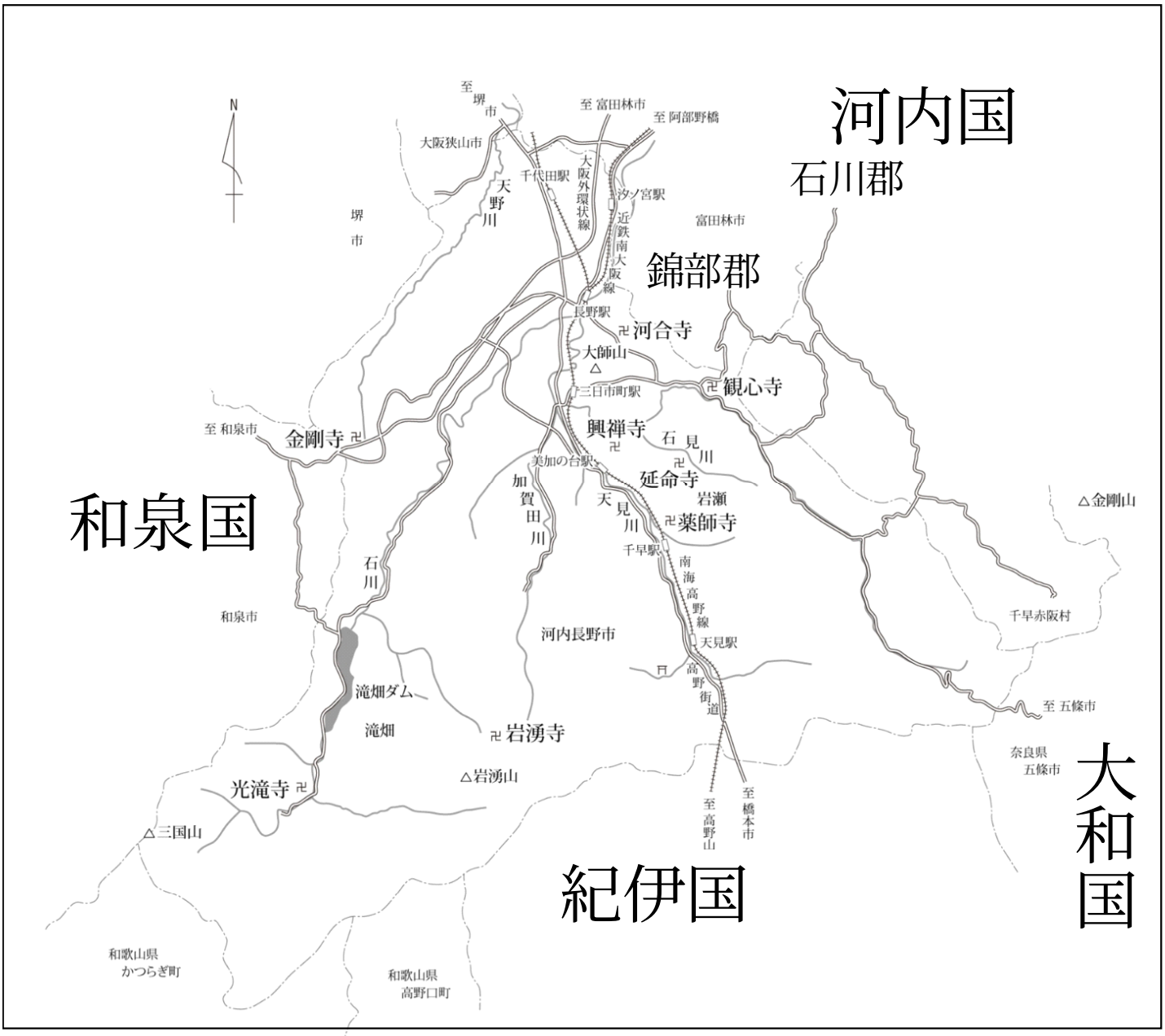
河内長野市文化財保存活用地域計画策定について

尾 谷 雅 彦

1, 河内長野市の概要

河内長野市は、大阪府の東南端にあり、奈良県、和歌山県に接している。市域の面積は109.63km²で、大阪府内では、大阪市、堺市に続き３番目に広い市域を有するが、７割が森林（大部分は人工林）であり住宅地、耕作地の割合は相対的に少ない。市域の地形を見ると、東部には金剛山地が、南部には岩湧山を始めとする和泉山脈が連なり、中央部には加賀田丘陵が、西部には小山田丘陵が広がっている。そして、それらの間を流れる石見川、天見川、加賀田川、　石川、西除川（天野川）の５つの河川に沿って主要な谷と河岸段丘が形成されている。古くからの居住地と耕作地の大部分は、これらの谷や河岸段丘上に位置し、それぞれ独自の歴史と文化が存在する。一方で丘陵上には昭和から平成にかけて開発された団地が広がっている。

　人口は現在約10万3千人余り、生産人口は約55%で高齢化率が約31%の状況で、ご多分に漏れず定住が望まれるのは勿論であるが、全国的に人口が減少する中で当面は交流人口及び関係人口を増やし、まちの活力の維持と充実を推進していくことが課題となっている。



河内長野市概要図

2, 歴史的背景

旧石器時代～縄文時代にかけての遺跡数は、府内の他の市町村よりも多い。 弥生時代では大阪平野部におくれて中期以降に集落が発展する。大型の集落では三日市北遺跡がある。しかし、同時代の遺跡は比較的少ない。

古墳時代前期には、全長52mの前方後円墳の大師山古墳が出現する。集落遺跡では、前期の三日市北遺跡・中期の三日市遺跡がある。後期になると三日市遺跡が継続して営まれる他、周辺へも居住域が拡大し、新たに小塩遺跡などが市内南部の加賀田川流域に出現する。

古代には、本市域は河内国錦部郡の一部となるが、市域に集落遺跡は少なく、新たに石川流域で高向遺跡などが形成される。なお、高向遺跡周辺は、初の留学生で大化改新政府において国博士として活躍したと日本書紀に伝えられる高向玄理の出身地とされている。

中世には、一転して市域の遺跡は急増し、市域の大部分の遺跡で何らかの人々の暮らしのあとが見られる。このことは、土木技術の向上により河岸段丘面の耕地化が進んだことに加え、高野山への主要な参詣ルートが市域を経由し、それにより京、大坂、堺と高野山を結ぶ交通・流通が活発化したことによるものと考えられる。また、市域には藤原氏系の荘園である法成寺領長野庄が置かれ、観心寺や金剛寺に代表される真言宗系の中世一山寺院も興隆した。治承・寿永の内乱期、南北朝期、戦国期の３時期に渡って戦乱の舞台となった。治承・寿永の内乱期には、長野庄を本拠地とし平家方として砺波山の戦いで討ち死した源貞弘や石川義兼などの石川源氏が知られている。南北朝内乱期には、南朝の勢力圏となり楠木正成の活躍の舞台ともなった。このため、古戦場跡、中世城郭跡、中世居館跡も多く残っている。中でも、史跡烏帽子形城は曲輪・土塁・横堀が良好な状態で遺存する。

近世に入ると市域には、幕府領、旗本領や近江膳所藩、河内狭山藩などの大名領が置かれた。また、膳所藩から分封した河内西代藩が延宝７年(1679)から享保17年(1732にかけて陣屋を置いた。市域には、36の村が置かれ、各村では 鎮守や村堂を中心に民家、田畑、墓地、小路などが展開する現代にもつながる里山集落の風景が形成された。観心寺、金剛寺は寺領が縮小し、境内の堂宇や子院も減少した。近世には高野詣が民衆へも広がり、本市域には高野街道三日市宿が置かれた。三日市宿は、高野参詣の中継地として栄え、多くの旅籠で賑わいをみせていた。現在でも、旅籠を踏襲した建物が残されている他、この時期に設置された里程石、道標、石灯籠などが沿道に残り、宿場町の運営に関係する村方文書も残っている。

なお、近代になって鉄道も開通し、南朝史跡・温泉によってにぎわった。また、大きな戦災にあっていないことから近世・近代の建築物も多く残り、中心市街地にもこの時期に建築された民家が多く残っている。鋳物、酒造、凍豆腐、爪楊枝や豊富な河川を利用した水力による産業も盛んで、市内には多くの産業用水車が造られ、今も一部 が残っている。また、役場庁舎、学校講堂、駐在所などの公共施設や民間建築の一部に洋風の技術や意匠を取り入れた近代建築が建てられた。

3, 歴史文化の特徴

地域の歴史は、中世が大きな画期となっており、この時期に開発が進み、人口が急激に増加したとみられる。これは、市域が高野参詣の主要なルートに組み込まれたことで流通や交通の要衝として活性化したことによるものである。地域の活性化を受けて、観心寺や金剛寺の大規模寺院が地域に根を下ろし、地域の信仰・政治・文化・教

育・経済の拠点として栄え、多くの財が集まった。また、地理的、宗教的な位置から治承・寿永の内乱期、南北朝期、戦国期には合戦の舞台ともなった。この他、近世では、本市を特色づける歴史文化遺産として、里山集落の景観、宿場町の景観、産業遺産がある。これらのことから、本市の歴史文化の特徴は以下の５つに分けて示す。

3-1中世寺院に関わる歴史文化

市域の最も東にある石見川流域、最も西にある西除川（天野川）流域は、密教寺院の寺領として発展した地区である。中世寺院である観心寺、金剛寺を核として、その周辺に広がるかつての寺辺領には、中世文書に記述された村々が現代でも残っているこれらは、棚田、民家、村堂、鎮守などによって構成され、地域住民の生業によって維持され ている。また、中世より続く祭礼も行われている。両寺院は、京都、高野山、根来寺などともつながりを持ちながら発展し、これらの地域との関係を示すような歴史文化遺産も多く所蔵されている。また、本市の中央を流れる加賀田川は、その最上流部に、修験道関連の寺院であった岩湧寺があり、周囲には経塚や霊場、修験道にちなんだ伝承地などが点在し、信者による巡拝も続いている。このような修験道の霊場は、古葛城山と呼ばれた大阪南部の山地に沿って広がりをみせ、旧紀伊国まで続いている。

3 - 2中世の合戦に関わる歴史文化

市域は、治承・寿永の内乱期、南北朝期、戦国期の３つの時期に多くの合戦が行われてきた。このため、各谷の縁辺にある丘陵には、中世に築かれた城郭が存在しており、谷を貫く交通の要衝には、古戦場跡も見られる。特に南北朝期には、楠木一族や南朝に関わる政治拠点の跡や古戦場跡がある。戦国期には、烏帽子形城が河内守護畠山氏の城として築かれ、羽曳野市高屋城や富田林市嶽山城とともに歴史に登場する。また、これらの戦いの様子を記録した古文書が寺院に残り、奉納された武器や武具も存在している。

3-3高野詣に関わる歴史文化

天見川流域は、和歌山県域へと通じる交通網としてすでに弥生時代には使われていたとされる。このルートは、やがて京都や大坂、堺と高野山とを結ぶ高野参詣の道として使われるようになり、 近世になると高野街道として整備され、市内の三日市町・上田町 には宿駅がおかれた。これらの地区では旅籠を踏襲した建物が現在では住居として残っており、この他、神社、仏閣や灯籠、小堂、道標、高札場跡などの交通に関連する歴史文化遺産が分布する。これらの歴史文化遺産は住民の日常的な生活や管理などを通じて維持され、本市の中心市街地の景観的イメージとなっている。

3-4里山集落に関わる歴史文化

各谷部には、村の鎮守、お堂を中心に、民家、棚田、小路、墓地などによって構成される里山集落の文化的景観があり、他の歴史文化遺産のまとまりとも融合しながら存在している。これらの民家、棚田、小路が日常生活や生業 のために使われ続けているのは勿論のこと、墓地では供 養が続いている。各村落は中世にまで遡るものが多く、近世・近代をへて地域コミュニティの基礎となったと考 えられる。村堂では中世に由来する祭礼や集会が行われ ている。中世や近世時点の里山風景のようすを記録した文書や絵図も残っており、人の絆は、現在も祭礼や生業の中で 受け継がれており、これが里山景観を維持する基盤ともなっている。

河内長野市の指定文化財一覧表

令和3年2月4日

指定区分			国指定 国宝	国指定 重要文化財	国指定 重要無形文化財	国指定 重要民俗文化財	国指定 特別史跡	国指定 史跡	国登録	府指定	市指定	市選定	計		文保法根拠条文
有形文化財		建造物	1	17						3	8		29		27条
	美術工芸品	絵画	1	6							11		18	115	
		彫刻	2	34						5	18		59		
		工芸品	1	10						2	3		16		
		書跡・典籍・古文書	3	10						1	4		18		
		考古資料								1	2		3		
		歴史資料									1		1		
無形文化財		芸能												1	71条
		工芸技術			1								1		
民俗文化財		有形のもの									6		6	12	
		無形のもの									6		6		
記念物		史跡						3		1	1		5	15	109条
		名勝								2	1		3		
		天然記念物								5	2		7		
有形文化財		建造物							21				21	21	57条
選定		選定保存地域										4	4	4	市条例52条
		選定保存技術										0	0		
小計			8	77	1	0	0	3	21	20	63	4	197		
			85												
区分			国指定 国宝	国指定 重要文化財	国指定 重要無形文化財	国指定 重要民俗文化財	国指定 特別史跡	国指定 史跡	国登録	府指定	市指定	市選定	総計		

3-5近世･近代の生業に関わる歴史文化

大坂という近世大都市の近郊にある農村として、菜種、木綿、南天、炭、茶、鋳物、酒などの商品の生産が盛んであった。これらの多くは、産業としては途絶えたものも多いが、歴史文化遺産として生産品をはじめ、生産用具、生産遺構、生産に関わる文書などが伝わっている。 また、主要な産業であった農業に関しても、ため池や水路などが数多く造られており、現在で も使われ続けている。このような手工業や農業が本市の近世・近代における主要な生業となった。

4, 歴史文化遺産の状況

令和3年2月時点で８件の国宝と77件の重要文化財をはじめとする197件の指定文化財、国登録文化財が存在する。本市域に所在する歴史文化遺産の特徴は、年代的には奈良時代まで遡るが中世が中心となる。類型としては信仰に関わるものが多くを占める点にある。

5, 歴史文化遺産の調査研究保存･整備･継承支援、活用に関する方針

5-1 既往の調査

5-1-1委託調査

河内長野市郷土研究会　昭和49年度以来に民間の任意団体である河内長野市郷土研究会に委託を行い、市域の歴史文化遺産の調査を行ってきた。

金石文・地名・棟札制札・石造物・一石五輪塔・年中行事・講・各自治会収蔵資料調査

5-1-2河内長野市教育委員会　直営調査

埋蔵文化財調査・民家調査・近代建築・民話調査・城館分布調査・井路（水利）調査・温泉調査・市史

5-1-3調査状況

寺社建造物　市史編纂事業の際に総合調査を終え、基本構想策定の際に、平成27年度時点での現状の把握を行っている。

②民家建造物
　民家については基本構想策定の際に、平成27年時点での現状の総合調査を行っている。この他、近代建築については一部、調査を行っているのみであり総合調査は行っていない。
③彫刻・絵画　・工芸品
　宗教法人格を有する寺院の大部分について、市史編纂事業の際に総合調査を終えており、　この他の寺院についても平成26年に調査を終えている。この他、地域の中で講などに　よって所有されてきたものは、平成19年～平成27年にかけて調査を終えている。
④書跡・典籍・古文書
　中世、近世文書の多くは、市史編纂事業の際に総合調査を終え台帳も整備されているが、寺院を中心とした古文書については近世の総合調査が実施できていない。
⑤考古資料
　発掘調査を随時行い、台帳によって把握ができている。
⑥無形民俗文化財
　各地区とも調査が十分ではないため、本地域計画の実施期間において総合調査を進める必要がある
⑦史跡
　埋蔵文化財についてはその分布を把握しているものの、寺社跡などについては、各地区とも調査が十分ではないため、本地域計画の実施期間において総合調査を行う必要がある。
⑧名勝
　寺院庭園、旅館庭園のみ調査を行っているが、民家に付属するものについては各地区ともに調査を行っていない。また、これ以外の物件についても調査を行っていない、本地　域計画の実施期間において総合調査を行う必要がある。また景勝地についても総合調査　を行う必要がある。
⑨天然記念物
　把握が十分ではない類型の文化財であるものの、市内には巨木が生育している場所がある。これらについて総合調査が必要である。
⑩文化的景観
　文化的景観については、地域計画で歴史文化遺産保存活用地区を設定している場所に関　して基本構想策定時に調査を行っている。
⑪選定保存地域
　選定保存地域については、市内で４箇所を選定している。今後も活用しつつ必要に応じて生育状況の調査などを行っていく必要がある。

5-2、関連遺産群・歴史文化遺産保存活用地区の設定
　歴史文化遺産のまとまりについての情報を市民、学校、企業、行政などが共有することで、保存の意識を高め、活用の機会の創出を促進するために５項目の関連遺産群と9地区の歴史文化遺産保存活用地区を設定する。
5-2-1関連遺産群
「中世一山寺院とこれに関連する有形・無形の歴史文化遺産群」　「中世城跡・古戦場跡とこれに関連する歴史文化遺産群」　「高野街道と宿場町と交通・観光に関連する歴史文化遺産群」「里山集落の生業・生活・風習に関連する歴史文化遺産群」「近世・近代における生業・産業に関連する歴史文化遺産群」

5-2-2歴史文化遺産保存活用地区の設定(面的)
①高野街道沿いの歴史文化遺産保存活用地区
②寺ヶ池を中心とする歴史文化遺産保存活用地区
③観心寺と旧寺辺領の歴史文化遺産保存活用地区
④天野谷の歴史文化遺産保存活用地区
⑤高向地区及び周辺の歴史文化遺産保存活用地区
⑥滝畑の歴史文化遺産保存活用地区
⑦流谷の歴史文化遺産保存活用地区
⑧島の谷の歴史文化遺産保存活用地区
⑨岩湧寺を中心とする葛城修験霊場の歴史文化遺産保存活用地区

6, 歴史文化遺産の調査研究、保存･整備･継承支援、活用における課題と基本方針

6-1課題
① 歴史文化遺産の調査が進んでいるが、類型によっては把握や価値の評価が十分ではないものがあること。
② 今後、適切に保存修理を行っていく必要がある歴史文化遺産が存在し、また災害や気象条件の変化による緊急な対処が必要となる事案に備える必要があること。
③ 少子高齢化によって歴史文化遺産を保有する地域のコミュニティ人口が減少し、歴史文化遺産を継承し、また周囲の文化的景観を維持している生業活動が特に山間部で困難になりつつあること。
④市域全体の持続的な活性化のために、歴史文化遺産を観光、教育、景観形成の地域資源としていっそう活用していく必要があることである。

6-2基本方針
基本方針１　把握と共有
　地域の歴史文化遺産の総合的な調査と相互関連性の把握に基づいて、テーマ或いは空間としての歴史文化遺産のまとまりと、その特徴や重要性を再認識し、情報を市民・所有者・行政などで共有する。
・市域にある歴史文化遺産に関する基礎情報の共有化・関連する歴史文化遺産をテーマ別でまとめた関連遺産群が持つ価値の共有化
・関連する歴史文化遺産を地域別でまとめた歴史文化遺産保存活用地区が持つ価値の共有化
<u>基本方針2 人づくり</u>
　地域の歴史文化遺産をもって郷土に対する関心と愛着心を喚起し、 地域貢献できる人づくりを行う。
・把握された歴史文化遺産群が持つ新たな価値の学校教育における活用　・把握された歴史文化遺産群が持つ新たな価値の社会教育・生涯学習における活用 歴史文化遺産の調査研究、保存・整備・継承支援、 活用に関する方針 歴史文化遺産の調査研究、保存・整備・継承支援、
<u>基本方針3 仕組みづくり魅力向上</u>
　地域の歴史文化遺産を継承するために、多様な主体が参加できる仕組みを構築する。
・周辺環境も含めた歴史文化遺産群の保存と活用
・旧村の住民を中心とした歴史文化遺産の保存主体に次世代を担う住民や新興住宅地

の住民が参加できる仕組みの構築
・指定文化財の活用、或いは未指定文化財の保存・活用に対しての支援に関する仕組みの構築　　・歴史文化遺産の継承による文化芸術の振興
基本方針4 魅力向上
　歴史文化遺産が集積する地域について新たな価値づけを行い、地域の魅力を向上させる。
・把握された歴史文化遺産群の価値による住環境の魅力向上・有形・無形の歴史文化遺産の保存継承と活用を通じた地域コミュニティの維持・発展　・把握された歴史文化遺産群の観光への活用
基本方針5 保存継承
　長期的視点で効果的・効率的な歴史文化遺産の保存・管理を行う。
・持続可能で効果的な歴史文化遺産の保存・継承の実施
・修復資材の地産・地消の推進
・歴史文化遺産の防犯・防災体

まとめ
　計画の実効性
　所有者・市民・関係団体への周知・理解の促進と連携。観光や地域づくり、景観、教育との連携協働。
　予算の確保・人員確保　一過性でなく、継続的に文化財担当部局だけでなく他部局も含めて取り組む。

参考
＊河内長野市文化財保護規則
昭和42年　河内長野市教育委員会規則第5号。
＊河内長野市文化財保護条例
平成12年9月26日　条例第25号
＊河内長野市歴史文化基本構想等策定委員会設置条例
平成25年6月18日　条例第25号
＊河内長野市文化財保存活用地域計画（以下「地域計画」という。）を、河内長野市歴史文化基本構想（以下「基本構想」という。）に基づいて文化財保護法第 183 条の 3 に規定された文化財保存活用地域計画として作成する。
認定　　令和２年２月１４日
計画期間　令和元年１２月から令和８年３月
＊日本遺産
　女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～
「葛城修験」- 里人とともに守り伝える修験道はじまりの地
　中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫～

交野市主要文化財

寺地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者(管理場所)	文化財所在地	指定年月日	時代	備考
指定	国	重文	建造物	建築物	山添家住宅	個人	寺2丁目	S44.6.20	江戸時代中期	宝永2年(1705)「板礼」
	府	府有形	美術工芸品	考古資料	交野東車塚古墳出土品	交野市	寺南野	H6.12.12	古墳時代中期	
	府	府史跡	記念物	史跡(古墳)	交野東車塚古墳	大阪府		H3.3.29		
未指定	－	遺跡	記念物	遺跡(古墳)	大畑古墳	個人	寺1・2丁目	－	古墳時代中期	全長85mの前方後円墳
	－	有形	美術工芸品	考古資料	大畑古墳出土遺物	交野市		－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像	正行寺	寺2丁目	－	室町時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像			－	室町時代後期	石龕仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　二尊仏			－	室町時代後期	石龕仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	聖徳太子像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	七高僧像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	親鸞像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	良如像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	湛如像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	蓮如像			－	明治時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	不動明王梵字碑	京の山(関西創価学園入口)	寺3丁目	－	鎌倉時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像2躯	寺区(共同墓地)	大字寺	－	室町時代中期・後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像			－	室町時代後期	石龕仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　二尊石仏			－	室町後期～桃山時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	五輪塔(空風輪・火輪)2基			－	室町時代前期～中期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	一石五輪塔			－	室町時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			－	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　地蔵菩薩立像	寺区(かいがけの道)		－	室町時代後期	「かいがけ地蔵」
	－	有形	美術工芸品	彫刻	磨崖　阿弥陀如来坐像			－	室町時代中期	「ごみの木地蔵」
	－	遺跡	記念物	遺跡(古墳)	鍋塚古墳	大阪府(前方部)交野市(後方部)		－	古墳時代前期	後方部側は森地区、南山遺跡
	－	遺跡	記念物	遺跡(古墳)	塚穴古墳(寺古墳群)	個人		－	古墳時代後期	円墳
	－	民俗	民俗	有形民俗	だんじり1基	寺区	大字寺	－	江戸時代後期	
	－	民俗	民俗	無形民俗	竜王祭(3月8日)			－	昭和時代	
	－	民俗	民俗	無形民俗	愛宕講(4月23日)		寺地区	－		

郡津地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者（管理場所）	文化財所在地	指定年月日	時代	備　　考
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像	明遍寺	郡津1丁目	－	室町時代	本尊像
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　脇侍像			－	江戸時代	本尊像
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像			－	室町時代前期～中期	鎌倉墓
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　九重層塔			－		元、郡津神社にあり
	－	有形	美術工芸品	彫刻	一石五輪塔2基			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来坐像			－	江戸時代	台座内に手習い風の戯書あり
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来坐像			－		観音堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　善導坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　善導坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　法然坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　法然坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	塑造　十一面観音坐像			－		観音堂本尊像
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　十一面観音坐像			－		観音堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　薬師如来立像			－		観音堂安置、厨子入り
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　不動明王立像			－		観音堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　愛染明王坐像			－		観音堂安置、厨子入り
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　弁財天坐像			－		観音堂安置、厨子入り
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　弁財天坐像			－		観音堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　神将形立像			－		観音堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　釈迦苦行像・愛染明王坐像			－		観音堂安置、厨子入り
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　聖徳太子立像			－		観音堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　空海坐像			－		観音堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　役行者倚像及び前鬼後鬼像			－		観音堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像及び脇侍像			－	明治時代	観音堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　西国三十三所観音像			－		観音堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　十一面観音立像			－	明治～大正時代	観音堂安置、厨子入り（厨子裏面に法名を朱書）
	－	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	僧形像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	鶴に牡丹図			－	－	
	－	有形	美術工芸品	絵画	「明遍寺」寺号額字			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	書跡	「蓮華三昧院」院額字			－	明治～大正時代	
	－	有形	美術工芸品	工芸・その他	位牌			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	工芸・その他	半鐘			－		
	－	有形	美術工芸品	工芸・その他	半鐘			－		
未指定	－	遺跡	記念物	遺跡（寺院）	長宝寺跡	郡津区	郡津1丁目	－	飛鳥～平安時代	
	－	有形	美術工芸品	考古	長宝寺跡出土瓦群	交野市（教育文化会館）		－		
	－	遺跡	記念物	遺跡（古墳）	丸山古墳	極楽寺	郡津5丁目	－	古墳時代	
	－	有形	美術工芸品	書跡等	郡津村文書	交野市（教育文化会館）	－		江戸～明治時代	

森地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者（管理場所）	文化財所在地	指定年月日	時代	備考
指定	市	市有形	美術工芸品	歴史資料	紙本著色 石清水八幡宮放生会絵巻	個人	森南1丁目	H19.11.1	江戸時代中期	
指定	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像	交野市（教育文化会館）	大字森	H19.11.1	南北朝時代	常徳庵
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像	須弥寺	森南3丁目	－	南北朝時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来坐像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	当寺本尊
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　千手観音立像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	宇佐から石清水への警護観音
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　千手観音立像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	観音堂安置。鎌倉風だが江戸時代前期の作か
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　地蔵菩薩立像及び二童子像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	地蔵堂安置
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	不動明王坐像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	阿弥陀三尊像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	善導大師・法然上人立像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　西誉上人坐像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　西念行者立像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　僧形坐像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	観音堂の縁に安置。賓頭廬か
未指定	－	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	絵画	当麻曼荼羅図	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	絵画	千手観音像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	絵画	西願上人像	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	書跡	六字名号	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	工芸・その他	月輪	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	観音堂所在
未指定	－	有形	美術工芸品	工芸・その他	鑿	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	工芸・その他	鉦	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	工芸・その他	鰐口	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	観音堂所在
未指定	－	有形	美術工芸品	工芸・その他	扁額	須弥寺	森南3丁目	－	江戸時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	書跡等	森村庄屋文書	須弥寺	森南3丁目	－	江戸～明治時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　三尊仏	森区（共同墓地）	大字森	－	室町時代後期	
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　五輪塔火輪	森区（共同墓地）	大字森	－	室町時代前期～中期	
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	一石五輪塔	森区（共同墓地）	大字森	－	室町時代後期	
未指定	－	遺跡	記念物	遺跡（古墳）	鍋塚古墳	交野市（後方部）大阪府（前方部）	大字森	－	古墳時代前期	前方部側は寺地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備　　考
未指定	―	遺跡	記念物	遺跡 (古墳)	森古墳群	個人	大字森	―	古墳時代前期	
	―	有形	美術工芸品	考古資料	森古墳群出土遺物	交野市		―		
	―	民俗	民俗	有形民俗	だんじり1基	森区 (川東神社)	森南2丁目	―	江戸時代後期	彫師　柳原清蔵
	―	民俗	民俗	無形民俗	正居(2月3日)	須弥寺	森南3丁目	―	昭和時代	森村記念日と伝わる
	―	民俗	民俗	無形民俗	放生会(9月15日)	森区		―		石清水祭、火長神人

傍示地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備　　考
指定	国	重文	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像	八葉蓮華寺	大字傍示	S60.6.6	鎌倉時代	追加指定 (僧恵敏発願阿弥陀経等一巻及びア(梵字)阿弥陀仏宛書状等三通一枚、釈迦如来名等一巻) S62.06.06
未指定	―	有形	美術工芸品	彫刻	石造　五輪塔基礎	廃蓮華寺跡	大字傍示	―	室町時代後期	明応元年(1492)銘あり
	―	有形	美術工芸品	彫刻	石造　五輪塔水輪			―	南北朝時代	
	―	有形	美術工芸品	彫刻	石造　地蔵菩薩立像	傍示区 (共同墓地手前)		―	室町時代後期	
	―	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像			―	桃山時代	
	―	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像	傍示区 (共同墓地)		―	室町時代後期	
	―	有形	美術工芸品	彫刻	石造　二尊仏2躯			―	室町時代後期～桃山時代	石龕仏　左)地蔵菩薩立像、右)阿弥陀如来立像
	―	有形	美術工芸品	彫刻	一石五輪塔2基			―	室町時代後期前半	
	―	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材　2基			―	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	―	有形	美術工芸品	彫刻	石造　二尊仏	傍示地区 (北浦の辻)		―	室町時代後期	石龕仏　左)地蔵菩薩立像、右)阿弥陀如来立像
	―	民俗	民俗	無形民俗	上人さん(御回在、12月上旬)	傍示区	傍示地区	―	昭和時代	大阪市平野大念寺の十一尊天徳如来(掛け軸)が巡ってくる

倉治地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備　　考
指定	国	登録	建造物	建築物	交野市立教育文化会館 (旧交野無尽金融株式会社本社屋)	交野市	倉治6丁目	H19.12.5	昭和4年	
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	廃岩倉開元寺関係石仏群 石造弥勒仏坐像 摩崖三尊像 石造阿弥陀如来立像 摩崖阿弥陀三尊像 石造二尊立像	倉治区	大字倉治	H14.9.1	室町時代	
	市	市有形	美術工芸品	考古	倉治古墳群出土品	交野市 (教育文化会館)	東倉治3丁目	H12.4.1	古墳時代後期	
	市	市有形	美術工芸品	考古	廃岩倉開元寺出土懸仏 銅造千手観音坐像 銅造独尊坐像	交野市 (教育文化会館)	大字倉治	H19.11.1	鎌倉時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	絵画	絹本着色　十六善神像	機物神社 (天王寺美術館)	倉治1丁目	－	室町時代中期	文明8年銘
	－	有形	美術工芸品	書籍等	機物神社文書	機物神社		－	江戸～明治時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　愛染明王坐像	光明院	倉治6丁目	－	室町時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　地蔵菩薩立像			－	室町時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　板碑形二尊　2躯			－	桃山時代	左)地蔵菩薩立像、 右)阿弥陀如来立像
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像5躯			－	室町時代中期前半～桃山時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　地蔵菩薩立像			－	南北朝時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　如意輪観音坐像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　毘沙門天立像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　聖観音立像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	銅造　釈迦誕生仏立像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　善導大師・法然上人坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図			－	室町時代	当寺本尊
	－	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀聖衆来迎図			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	位牌			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像	善通寺	倉治6丁目	－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	方便法身尊像			－	桃山時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	方便法身尊像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	聖徳太子画像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	七高僧画像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	親鸞聖人画像			－		「善通寺由緒」によれば、宝永元年(1704)
	－	有形	美術工芸品	絵画	蓮如上人画像			－		「善通寺由緒」によれば、弘化4年(1847)

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備　　考
未指定	―	有形	美術工芸品	絵画	良如上人画像	善通寺	倉治6丁目	―	江戸時代	
	―	有形	美術工芸品	絵画	文如上人画像			―		
	―	有形	美術工芸品	絵画	本如上人・広如上人連坐像			―		
	―	有形	美術工芸品	書跡	六字名号			―	室町時代	
	―	有形	美術工芸品	書跡	十字名号			―	桃山時代	
	―	有形	美術工芸品	書跡	『唯信妙』文			―	江戸時代	
	―	有形	美術工芸品	工芸	半鐘			―		
	―	有形	美術工芸品	書籍等	加地家文書	個人		―	江戸～明治時代	
	―	有形	美術工芸品	書籍等	金澤家文書	個人		―	江戸～明治時代	
	―	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像5躯	倉治区	東倉治3丁目 (源氏滝入口)	―	室町時代中期前～桃山時代	
	―	有形	美術工芸品	彫刻	不動明王磨崖梵字碑	倉治区	東倉治3丁目 (源氏の滝)	―	江戸時代前期	
	―	有形	美術工芸品	書籍等	貴志家文書	個人寄託 (教育文化会館)	神宮寺2丁目	―	江戸～明治時代	
	―	有形	美術工芸品	考古資料	開元寺礎石	交野市 (教育文化会館)		―	奈良時代	
		有形	美術工芸品	考古資料	旧石器・縄文土器				旧石器～縄文時代早期	
	―	有形	美術工芸品	彫刻	聖観音磨崖梵字碑	倉治区	大字倉治	―	江戸時代前期	交野山(観音岩)
	―	有形	美術工芸品	彫刻	三宝荒神磨崖梵字碑			―		交野山
	―	有形	美術工芸品	彫刻	大日如来磨崖梵字碑			―		交野山
	―	民俗	民俗	無形民俗	牛回し(1月3日)	神宮寺地区	神宮寺1丁目	―	昭和時代	
	―	民俗	民俗	無形民俗	七夕(7月7日)	機物神社	倉治1丁目	―		河内名所図会などに紹介
	―	民俗	民俗	無形民俗	上人さん(12月上旬)	光明院	倉治6丁目	―		
	―	民俗	民俗	無形民俗	亥の子(12月4日)	倉治区	倉治地区	―		

私市地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者（管理場所）	文化財所在地	指定年月日	時代	備考
指定	国	国宝	美術工芸品	彫刻	木造 薬師如来坐像	獅子窟寺（収蔵庫）	大字私市	S43.3.16	平安時代前期	
	国	登録	建造物	工作物	天野川砂防堰堤	大阪府	私市9丁目	H15.1.31	明治30年頃	
	国	登録	建造物	工作物	尺治川砂防堰堤		私市9丁目	H15.1.31	明治時代後期	
	国	登録	建造物	工作物	尺治川床固工		私市7･9丁目	H15.1.31	明治時代後期	
	府	府重美	美術工芸品	彫刻	石造 地蔵菩薩立像	私市区（共同墓地）	私市8･9丁目	S34.9.25	鎌倉時代後期	弘安4年銘「弘安地蔵」
	府	府史跡	記念物	名勝	磐船峡	国ほか	私市9丁目	H30.3.23		
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 聖観音立像	私市区	私市3丁目	H4.8.1	平安時代後期	
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 如意輪観音坐像		私市3丁目	H4.8.1	室町時代	
	市	市有形	美術工芸品	考古	梵文光明真言刻銘瓦質土器	交野市	大字私市	H12.4.1	室町時代	
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　十三重層塔	松宝寺	私市1丁目	－	鎌倉時代後期～南北朝時代	元は千手寺にあったと伝わる。
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来坐像			－	平安時代後期	左右に毘沙門天立像と比丘形立像を配する
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　十一面観音立像			－	室町時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　良忍坐像			－	明治時代か	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　法明坐像			－	明治時代か	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　地蔵菩薩立像石仏			－	江戸時代か	地蔵堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	銅造　如来形立像			－	－	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	阿弥陀聖来迎図			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	仏涅槃図			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	阿弥陀聖来迎図			－	明治時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	位牌			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	半鐘			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　地蔵菩薩立像	千手寺	私市区	－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　不動明王立像					
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来坐像					
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　薬師如来立像					
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　弘法大師坐像					
	－	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図					
	－	有形	美術工芸品	絵画	諸尊来迎図					
	－	有形	美術工芸品	工芸その他	位牌					
	－	有形	美術工芸品	工芸その他	鉦					観音講伝来
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　大日如来坐像	蓮華寺	私市区	－	江戸時代	

私部地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者（管理場所）	文化財所在地	指定年月日	時代	備考
指定	国	重文	建造物	建築物	北田家住宅	個人	私部1丁目	S54.2.3	江戸時代中期	
	国	登録	建造物	建築物	山野家住宅	個人	私部7丁目	H15.1.31	江戸～明治時代	江戸末/大正末移
	市	市史跡	記念物	史跡	私部城跡	交野市	私部6丁目他	H30.10.1	室町時代後期	
未指定	－	有形	美術工芸品	書籍等	北田家所蔵文書	個人	私部1丁目	－	江戸～明治時代	
	－	有形	美術工芸品	書籍等	原田家所蔵文書	個人		－	江戸～明治時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　地蔵菩薩立像	私部区（空禅藪）		－	室町時代中期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　層塔屋蓋部			－	南北朝時代か	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　五輪塔空風輪（水輪部）			－	南北朝時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　欄間	私部区（神社社務所）		－	桃山時代	元、現光寺本堂
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像	私部区		－	室町時代後期か	「学び地蔵」
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像		私部3丁目	－	室町時代中期	「奥部屋地蔵」
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　如来三体			－	室町時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　板碑形阿弥陀如来坐像		私部5丁目	－	室町時代後期	「向井山地蔵」、私部城本郭
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　観音菩薩立像			－	室町時代後期	「またべ地蔵」
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　聖観音立像	光通寺		－	鎌倉時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　聖観音坐像			－	室町時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　香合			－	南北朝時代	後筆銘あり
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　棟札			－	寛文4年（1664）	安見右近の記述あり
	－	有形	美術工芸品	彫刻	別峰和尚の寂照塔			－	室町時代中期	「応永九壬午年」(1409)の銘
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像6躯			－	室町時代中期～桃山時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像			－	室町時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　五輪塔基壇			－	南北朝時代～室町時代前期前半	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　十一面観音立像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	塑造　不動明王坐像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　別峯大殊頂相			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　役行者倚像及び前鬼後鬼像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	絹本著色　無準師範頂相・弁翁頂相			－	室町時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	別峯大殊頂相			－	南北朝時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	無準師範頂相			－	室町時代	京都・東福寺本の転写本
	－	有形	美術工芸品	絵画	弁翁頂相			－	室町時代	頂相の部分は江戸時代の補彩か
	－	有形	美術工芸品	絵画	雲関頂相			－	江戸時代	応永18年の賛があるが、江戸時代の転写本か
	－	有形	美術工芸品	絵画	伯蔭頂相			－	室町時代末～江戸時代初期	
	－	有形	美術工芸品	絵画	聖一国師頂相			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	達磨図			－		

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者(管理場所)	文化財所在地	指定年月日	時代	備考
未指定	－	有形	美術工芸品	絵画	出山釈迦図	光通寺	私部5丁目	－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	釈迦十六善神像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	楊柳観音図			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	帝釈天曼荼羅？			－	中国・明時代	
	－	有形	美術工芸品	書跡	日本円光国師行道記			－	江戸時代	永楽3年(1405)大方道遐撰
	－	有形	美術工芸品	書跡	円光国師三十三回忌香語			－	室町時代	
	－	有形	美術工芸品	書跡	円光国師三百年忌香語			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	書跡	円光国師三百五十年忌香語			－		
	－	有形	美術工芸品	書跡	円光国師四百五十年忌香語			－		
	－	有形	美術工芸品	書跡	南岳悦山墨蹟「暮道山家不勝燈」			－		
	－	有形	美術工芸品	書跡	「光通寺」寺号			－		
	－	有形	美術工芸品	書跡	木堂光欣墨蹟「寂荘照」			－		
	－	有形	美術工芸品	書跡	東海墨蹟「放下著」			－		
	－	有形	美術工芸品	書跡	墨跡「一声啼鳥破迷夢」			－		
	－	有形	美術工芸品	工芸	香合			－	南北朝時代	
	－	有形	美術工芸品	書跡	鎚台			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	書跡	鑿			－		
	－	有形	美術工芸品	書跡	半鐘			－		
	－	有形	美術工芸品	書跡	燈籠			－		
	－	有形	美術工芸品	書籍等	光通寺所蔵文書			－	桃山時代～江戸時代	慶長9年の女房奉書1通、寺社伝奏披露状2通含む
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石龕仏　二尊仏	想善寺	私部5丁目	－	室町時代後期頃か	左)地蔵菩薩立像、右)阿弥陀如来立像仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像5躯			－	室町時代中期～桃山時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　地蔵菩薩立像			－	室町時代前期頃か	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　比丘形横立像			－	桃山時代か	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　十一重層塔			－	鎌倉時代後期後半～南北朝時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材？			－	不明	宝瓶三茎蓮文様
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　六字名号碑			－	桃山時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　地蔵菩薩立像			－	室町時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来坐像及び両脇士像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来瑠立像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　善導坐像・法然坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　空海坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	阿弥陀二十五菩薩来迎図			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	釈迦三尊像			－		

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備　　考
未指定	―	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図	想善寺	私部5丁目	―	江戸時代	
	―	有形	美術工芸品	絵画	鑿			―		
	―	有形	美術工芸品	絵画	半鐘			―		
	―	有形	美術工芸品	絵画	鐘堂棟札			―		
	―	有形	美術工芸品	絵画	位牌			―		
	―	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像	無量光寺	私部5丁目	―	平安時代	
	―	有形	美術工芸品	工芸品	梵鐘			―	享保5年(1730).	安見の記述あり
	―	有形	美術工芸品	書籍等	無量光寺所蔵文書			―	江戸時代	
	―	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像			―		
	―	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像			―		
	―	有形	美術工芸品	絵画	聖徳太子像			―		
	―	有形	美術工芸品	絵画	七高僧像			―		
	―	有形	美術工芸品	絵画	了道像			―		
	―	有形	美術工芸品	絵画	七言絶句　広如筆			―		
	―	有形	美術工芸品	絵画	半鐘			―		
	―	有形	美術工芸品	絵画	位牌			―		
	―	民俗	民俗	有形民俗	だんじり2基	私部区 (住吉神社)	私部1丁目	―	江戸時代中期・後期	東-元保2年、西-享保9年
	―	民俗	民俗	無形民俗	稲荷祭(2月初の牛の日)	北田家 (稲荷社)		―	昭和時代	野施行
	―	民俗	民俗	無形民俗	本恩講さん(12月上旬)	無量光寺	私部5丁目	―		
	―	民俗	民俗	無形民俗	ふいご祭り(12月8日)	鍛冶屋	私部地区	―		

星田地区

区分	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者 (管理場所)	文化財 所在地	指定 年月日	時代	備　　考
指定	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 十一面観音立像	星田寺	星田2丁目	H2.6.1	平安時代後期	小松寺伝来と伝える。観音堂前に詠歌額を掲げる
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 薬師如来立像	薬師寺 (一時移動中)	星田1丁目	H2.6.1	室町時代	
	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 千体仏 薬師如来立像(472躯) 地蔵菩薩坐像(192躯) 地蔵菩薩立像(5躯) 菩薩形立像(2躯)			H2.6.1	室町時代	
	市	市有形	美術工芸品	書跡等	星田村地詰帳(星田村庄屋文書)	交野市 (教育文化会館)	星田地区	H18.9.1	江戸時代前期	延宝5年(1673)、その他未整理史料あり。
	市	市有形	美術工芸品	書跡等	星田村絵図 元禄十年星田村絵図 天保十四年星田村絵図 星田村大絵図			H18.9.1	江戸時代	
	市	市有形	美術工芸品	歴史	神祖営趾之碑(徳川家康宿営之碑)	個人	星田2丁目	H22.9.1	江戸時代後期	文化3年(1806)
未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　地蔵菩薩立像	薬師寺	星田1丁目	－	鎌倉時代中期～南北朝時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像			－	室町時代前期前半頃	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像			－	室町時代後期	石龕仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　二尊仏			－	室町時代後期～桃山時代	石龕仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　比丘形横向立像			－	桃山時代	石龕仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　九重層塔			－	室町時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			－	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	－	有形	美術工芸品	彫刻	六字名号碑			－	桃山時代後半	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来坐像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　十一面観音立像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　地蔵菩薩坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　善導大師立像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　法然上人坐像			－		銘記中の施主西川氏はもと薬師寺前に住すという
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　弘法大師坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	書跡	版本一休宗純墨跡			－		
	－	有形	美術工芸品	工芸	鉦			－		
	－	有形	美術工芸品	工芸	鑿			－		
	－	有形	美術工芸品	工芸	鰐口			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　釈迦仏	光林寺	星田1丁目	－	室町時代後期	元は愛染律院にあった
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像			－	室町時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像			－	室町時代後期	石龕仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			－	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　釈迦如来立像及び両脇侍像			－	江戸時代	文殊は平安時代後期
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　地蔵菩薩立像			－		大師堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀三尊像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来坐像			－	江戸時代か	

未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　地蔵菩薩立像	光林寺	星田1丁目	－	江戸時代	大師堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　地蔵菩薩立像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　弘法大師坐像			－		大師堂安置
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　僧形坐像			－		大師堂安置
	－	有形	美術工芸品	絵画	十三仏画像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	絵画	当麻曼荼羅			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	仏涅槃図			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	宣空俊山上人位牌			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	茵			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　大黒天立像	星田寺	星田2丁目	－	南北朝時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像			－	南北朝時代～室町時代前期前半	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像2躯			－	室町時代後期	石龕仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　二尊仏			－	室町時代後期	石龕仏 阿弥陀如来立像
	－	有形	美術工芸品	彫刻	五輪塔基礎			－	室町時代後期	永禄6年、遠藤昌俊戒名銘。
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　宝篋印塔笠部・相輪部			－	南北朝時代～室町時代前期前半	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			－	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　不動明王立像及び二童子像			－	江戸時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　毘沙門天立像			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　僧形八幡神坐像			－		宝鏡・剣・宝珠が付属する
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　弘法大師坐像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	不動明王像			－		
	－	有形	美術工芸品	書跡	扁額			－		
	－	有形	美術工芸品	工芸その他	鉄眼版大般若経			－		
	－	有形	美術工芸品	工芸その他	鈸			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　愛染明王坐像	光明寺	星田2丁目	－	室町時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　地蔵菩薩立像			－	室町時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来坐像			－	室町時代後期	石龕仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　二尊仏			－	桃山時代	石龕仏 左)地蔵菩薩立像、右)阿弥陀如来立像
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　宝篋印塔基礎			－	室町時代後期	天文18年銘。
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　羽目石			－	南北朝時代～室町時代前期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　宝篋印塔基礎			－	室町時代前期～中期	
	－	有形	美術工芸品	書跡等	絹本著色　阿弥陀聖衆来迎図			－	室町時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　十一面観音立像	慈光寺	星田3丁目	－	平安時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　如来形立像			－	平安時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像			－	南北朝時代～室町時代前期前半	「鍋賀地蔵」
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　十三仏			－	桃山時代後半	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像3躯			－	南北朝時代～室町時代前期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　宝篋印塔基礎			－	室町時代前期～中期	

未指定	－	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			－	室町時代後期～桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	－	有形	美術工芸品	書跡等	慈光寺所蔵文書	慈光寺	星田3丁目	－	江戸～明治時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像	善林寺	星田1丁目	－	平安時代後期	伝来不詳。寄せ仏と称する
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像			－	江戸時代	当寺本尊
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像			－		内仏
	－	有形	美術工芸品	絵画	親鸞聖人像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	七高僧像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	聖徳太子像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	湛如上人像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	蓮如上人像					
	－	有形	美術工芸品	絵画	法如上人像			－		
	－	有形	美術工芸品	絵画	親鸞聖人絵伝			－		
	－	有形	美術工芸品	工芸	半鐘			－		
	－	有形	美術工芸品	工芸	磬			－		
	－	有形	美術工芸品	工芸	前机			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　五輪塔基礎			－		
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　宝篋印塔	交野市（新宮山八幡宮跡）		－	鎌倉時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　二尊仏			－	室町時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　地蔵菩薩立像	星田区（六路辻）	星田5丁目	－	室町時代後期	石龕仏 左）地蔵菩薩立像、右）阿弥陀如来立像
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像2躯	星田地区（妙見山南墓地/鎌倉墓）	星田9丁目	－	南北朝時代～室町時代前期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　比丘形坐像			－	南北朝時代～室町時代後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材7材			－	桃山時代～江戸時代	石龕仏
	－	有形	美術工芸品	彫刻	木造　阿弥陀如来立像			－	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	－	有形	美術工芸品	彫刻	宝篋印塔基礎	小松寺		－	南北朝時代～室町時代前期前半	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			－	室町時代後期	明応2年銘
	－	有形	美術工芸品	彫刻	一石五輪塔			－	室町時代後期～桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　五輪塔空風輪・水輪部	星田区（妙見山畑中）	星田9丁目？	－	室町時代後期前半	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石龕部材			－	室町時代中期～後期	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　地蔵菩薩立像			－	桃山時代	宝瓶三茎蓮文様
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　板碑形阿弥陀如来坐像	星田区（共同墓地）	星田北5丁目	－	室町時代後期～桃山時代	「新仏道しるべ地蔵」「迎え地蔵」
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　阿弥陀如来立像			－	室町時代後期～桃山時代	
	－	有形	美術工芸品	彫刻	石造　五輪塔火輪	星田区（真言墓）	妙見坂6丁目	－	鎌倉時代後期～南北朝時代	
	－	民俗	民俗	有形民俗	だんじり2基			－	室町時代前期～中期	
	－	民俗	民俗	無形民俗	初午（2月初の午の日）	星田区（星田神社）	星田2丁目	－	江戸時代後期	天保4,5年(1834,1835)製作、昭和57年修理
	－	民俗	民俗	無形民俗	お大師さん(4月21日）	星田区	星田地区	－	昭和時代	稲荷講、高岡山稲荷
	－	民俗	民俗	無形民俗	せんげんさん（8月7日）			－		12の大師堂
							星田8丁目	－		全現堂池

交野市文化財保存活用地域計画関連企画

市民文化財フォーラム

－自然と歴史を通じたまちの発見－

主催　：交野市教育委員会
発行　：NPO法人地域文化調査研究センター
090　3860　5200
email sekkasen22@yahoo.co.jp